



学校・家庭・地域をつなぐ

塩浜小 学校だより

令和4年3月7日

№29

～ 6年生の皆さん お世話になりました ～

3月2日(水)に、コロナ禍ではありましたが、感染対策を十分に行いながら「6年生を送る会」を実施しました。体育館には、卒業をお祝いする気持ちのこもった壁面飾りがきれいに貼られ、1年生からはありがとうのペンダントが送られました。

各学年からの発表では、よびかけや歌、合奏、クイズ、漫才、お楽しみコーナーなど、どの学年も趣向を凝らし、練習の成果が発表の中に表れていました。在校生からの感謝の気持ちと中学校にむけての応援のメッセージが、6年生の子どもたちへ十分に伝わった送る会でした。

また、5年生は、この会を成功させるために、友達と助け合って準備・運営に取り組んでくれました。顔つきも引き締まって、あと、1か月あまりで塩浜小学校の最高学年になるという自覚を持って、自分たちで考え行動することができました。いよいよ6年生から5年生へ、塩浜小学校のバトンが渡される時が来たようです。とても頼もしさを感じました。

6年生は、あと2週間ほどで卒業です。1～5年生の「ありがとう」の気持ちを受け止め、大きく前進して行ってほしいと思います。また、在校生は、6年生が築いてきてくれたこの塩浜小学校を、今まで以上によりよい学校にするために頑張っていってほしいと思います。



「ようこそ 先輩」 ～キャリア教育～



前田 優兵 さん



内田 陽菜 さん

塩浜小学校の卒業生で、社会人として立派に活躍してみえる先輩の方々にお越しいただき、卒業を前にした6年生へ、仕事についてお話をさせていただきました。

○前田 優兵 さん

川合町にある「ながた接骨院」で、柔道整復師・鍼灸師として働いてみえます。

- 2つの資格を取るのに、6年（3年+3年）かかりました。
- 中学校の時の職業体験でながた接骨院へ行ったのが、この職業に就くようになったきっかけです。
- 患者さんから、「ありがとう」「痛いところが治ってきたよ」「試合でよい結果を出せたよ」と言われると、よし頑張ろう！という気持ちになります。（やりがい）
- 恩師から「三流ではなく、一流になれ」と言われました。
「三流」とは…言われたこともできない
「二流」とは…言われたことはできる
「一流」とは…言われなくてもできる ← 目指して頑張っています
- 大人になって必要な力とは…「**考動力**」（考えて行動すること）



○内田 陽菜 さん

社会福祉法人「風薫会」しおはま在宅介護サービスセンターで、介護福祉士として働いてみえます。

- お母さんも介護の仕事をしています。
- 小さい頃から、おじいちゃん、おばあちゃんが大好きでした。いつか、お年寄りの役にたつ仕事につきたいと思っていました。
- 専門学校ユマニテク医療福祉大学校へ2年間通い、介護福祉士の国家資格をとりました。
- 先輩の介護士さんから、「高齢者の事故は命につながる」と教えてもらいました。分からないこと、難しいこともたくさんあって注意されることもあるけれど、お年寄りに「ありがとう」と言ってもらおうとやっぱりうれしいです。
- 今、学校で勉強していることの中に、仕事につながるものがたくさんあります。勉強は大事です。今のうちにしっかり勉強しておいたほうがよいと思います。

